

TAMAサステイナブル・アワード2025-2026について

市では、地域や学校、企業などで実践されている「持続可能なライフスタイル」や「環境にやさしい取組」を広く周知することで、多くの人に共感を与え、環境に対する一人ひとりの意識啓発・行動につなげていくことを目的にTAMAサステイナブル・アワードを開催しています。

第4回目の今回は、多摩しみどりと環境審議会委員(学識経験者)による審査を経て、次の6団体の受賞が決まりました。受賞団体については、たま広報2月20日号と公式ホームページで紹介しています。

TAMAサステイナブル・アワード当日は表彰式のほか、ワークショップ、講演会を行い、市民への意識啓発につなげていきます。

1. 受賞団体について

部 門	受賞団体	取組内容
地球温暖化対策部門	一般社団法人 えねこや	市内の小学校で「移動式えねこや」を使った出張授業
プラスチック・スマート部門	小嶋絵美	食材の使い切りに挑戦し、約 200 品のレシピを掲載した著書の出版など(食品ロス・資源循環の取組)
生物多様性保全部門	連光寺東谷戸の会	「連光寺・若葉台里山保全地域」内の湿地で保全活動
グッドライフスタイル部門	NPO 東京生物多様性センター	生きもの調査隊を立ち上げ、「市民が主役となる生きもの調査」を実施
中学・小学校部門	多摩市立豊ヶ丘小学校	多様な動植物が生息している学校林を未来に残すための探求学習
	多摩市立多摩永山中学校	全学年で「多摩市の未来を考える～多摩市への提言～」を授業で実施

2. サステイナブル・アワード当日について

- (1) 日時 令和8年2月28日(土) 13時から16時
- (2) 会場 パルテノン多摩 市民ギャラリー

【第1部】

- 表彰式

【第2部】

- ワークショップ

「水になって地球をかけめぐる。子どもも大人も楽しめるサイコロゲーム」

【第3部】

- 講演会

「気候変動と水とわたしたち」 講師：武田智子氏(WWFジャパン)